

# 担い手通信



第31号  
平成29年3月発行

大仙市 農林部 農業振興課  
大仙市大曲花園町1番1号  
電話：0187-63-1111  
FAX：0187-62-9388

## 今回のラインナップ

- ★平成28年度大仙市農業研修会 開催のお知らせ
- ★「新たな農業経営指標」を活用しましょう！
- ★第9回大仙農業元気賞受賞者の紹介



～今後の農業経営の参考に～

# 平成28年度『大仙市農業研修会』を開催します！

今回の大仙市農業研修会は、大きくわけて2部の構成となっております。

第1部は、大仙市新規就農者研修施設（東部・西部）の研修生による研修報告や、若手農業者で組織される「仙北地区農業近代化ゼミナール」の活動状況について報告をいただき、これから就農を目指す方や新規就農者との情報共有・相互研鑽の場とすることで、今後の大仙市農業を担う人材の確保・育成を図ります。

第2部は、秋田県農林水産部水田総合利用課の大友政策監をお招きし、今後の生産調整の見直しや、秋田県農業の見直しについてご講演をいただきます。

国による米政策の見直しによって、行政による生産数量目標の配分が平成30年産から廃止されますが、これによって、様々な問題が危惧されています。

このような問題に秋田県としてどのように対応していくのか、現在予定されている生産調整の見直しの内容とともにご講演をいただき、情報の収集と見識を深め、今後の農業経営に生かしていただくことを目的としています。

参加をご希望の方は、農業振興課または最寄りの各支所農林建設課まで、参加申込をお願いいたします。

■日時：平成29年3月27日（月）午後1時～午後4時

■場所：神岡農村環境改善センター（大仙市神宮寺字下川原前開100）

■内容：（1）報告

- ① 大仙市新規就農者研修施設研修生研修報告  
報告者：東部・西部新規就農者研修施設研修生 16名
- ② 仙北地区農業近代化ゼミナール活動状況紹介  
報告者：仙北地区農業近代化ゼミナール

（2）講演

「秋田米をめぐる状況と30年産以降の米づくりについて（仮題）」  
講師：秋田県農林水産部水田総合利用課  
政策監 大友 義一 氏



# 「新たな農業経営指標」を活用しましょう！

取組目標	項目	取組内容	取組状況	改善の進捗
経営管理	1 目標設定	中長期的に目指す経営の姿を経営目標として定め、家計・経営計画を策定している。	①	○
	2 計画立案	目標達成に向け経営計画を立て、それに基づき実践している。	②	○
	3 評価・改善	定期的に経営状況の検証・評価を行い、経営改善を図っている。	③	△
生産	4 作業記録簿	経営の改善記録を基盤として、作業の改善に役立てている。	①	○
	5 採算管理	採算簿の作成・検討を行い、採算を改善している。	②	△
	6 コスト削減	生産に係るコストを管理し、収益の増加を図っている。	③	△
販売加工	7 採み把握	販売先を把握し、自らの生産物の品質や特性を把握している。	①	○
	8 販路確保	複数の販路を確保し、経営の安定性を確保している。	②	○
	9 付加価値	付加価値の向上を図り、収益の向上を図っている。	③	×
財務	10 資金区分	経営の発展と資金計画のための資金を明確に区分している。	①	○
	11 財務諸表	財務諸表を整備し、適切な財務管理や経営判断を行っている。	②	○
	12 労働環境	労働・従業員の意見を求め、労働環境の改善に取り組んでいる。	③	○
労務	13 福利厚生	労働や従業員の健康を確保し、必要に応じて福利厚生制度を整備している。	①	○
	14 地域活動	地域農業の発展に資する活動を行っている。	②	○

項目	内容
収入	12,817,000
経費	8,200,000
利益	4,617,000

「新たな農業経営指標」は、農業経営の状況を確認し、経営の改善を進めるために活用していただくものです。

参考例をもとに、農業経営の状況や目標などを記入しましょう。記入後は、農林水産省ホームページにある「経営改善実践システム」にその内容を打ち込むと、評価結果シートができていきます。記載方法やパソコンの入力方法がわからない場合は、遠慮なくご相談ください。

農林水産省ホームページ

- 組織・政策
- 経営
- 新たな農業経営指標
- 経営改善実践システム

